

# 第3回 日田市審議会

## 議事録

日 時：平成31年2月22日（金）午後3：30～

場 所：日田市役所7階中会議室

■日 時：平成31年2月22日（金）午後3：30～

■場 所：日田市役所7階中会議室

■出席委員：15名中14名出席

石橋委員 日隈委員 坂本委員 十時委員 工藤委員 井上（明）委員 池田委員  
諫山委員 篠藤委員 上原委員 鋤柄委員 上戸委員 海老原委員 大塚委員

■次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議題

（1）総合戦略の見直しについて

・日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 について

・日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプランについて

（2）地方創生推進交付金の検証結果について（H29 実施分）

（3）日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の推進体制について

（4）その他

4. 閉会

発言者	主 旨
事務局挨拶 (地方創生推進課)  委嘱状の交付	<p>只今から、第3回 日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を開催いたします。</p> <p>なお、本日は、自治会連合会の井上様よりご欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>また本日の会議にあたりまして、委員の任期の途中ではございますが交代がございましたので新しい委員をご紹介します。まず、日田青年会議所理事長の上原英之様でございます。よろしくお願いいいたします。続きまして、日田市子ども子育て会議委員の鋤柄嘉洋様でございます。よろしくお願いいいたします。委嘱状につきましては机上の上でお渡しをさせていただきたくております。</p> <p>続きまして、会長の別府大学 篠藤先生から、ご挨拶をいただきます。</p>
会長あいさつ	<p>先ほどの会でも同じような話をしたのですが、私は1月にめでたく65歳になりました、高齢者の仲間入りとなりました。私の母親は90歳で、親子共々高齢者ということで母親も驚いています。私は、日本の社会を象徴しているのかなという気もしています。ただ、高齢者というか私の年齢になって、サラリーマンを大体がリタイヤして、働いているのは開業医だけです。ただ、65歳から75歳の間というのは、ある意味ではまだまだ若いと言うのが一つありますし、僕らの時代はサラリーマンを退職して、それから東京のマンションを処分すれば別府で優雅に暮らせるというような、ある意味で恵まれた世代だろうと思います。そして、高校時代にバンド等をしていた人は、いい年してまたバンドを始める。僕らの時代は、高度成長が始まった新しい世代の者ですから、もう1回楽しもうと、まだ元気なこの十年間をどうしようかと考える。私は別府鶴見が丘高校を出たんですけども、毎回30人程度の友人が30年間毎月集まって飲んでます。その中には、例えば国営公園の幹部でずっと働いてきた人は、リタイヤして別府に戻ってきて今はまちあるきガイドを一生懸命やっています。また、喫茶店をやり始めたとか、音楽活動やってるかいう人もいます。自分もその仲間入りをしておりますけれども、やはりこのような新しい時代と新しい感覚と、歳は取っているんだけどこういうマンパワーがあるんだなと考えております。この会議とあまり関係がないんですけども、今日は真摯な議論もできればと思いますのでよろしくお願いいいたします。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>ありがとうございます。それではこれからの審議の進行につきましては、設置要綱に基づきまして会長にお願いをしたいと思います。よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>それでは、会議次第に基づきまして、進行させていただきます。まず、事務局は会議成立の報告をしてください。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>(日田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略審議会 設置要綱第6条第3項)            設置要綱に基づきまして、審議会の成立は、『委員の半数以上の出席』といたしております。</p>

	<p>本日は、15名中、現時点で14名のご出席を頂いておりますので、この要件を満たしておりますので、会議が成立いたしますことをご報告いたします。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今日の議題は3つです。それでは議題の第1にあります、総合戦略の見直しについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>議題(1) 総合戦略の見直しについて 資料 日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改訂無し 資料 総合戦略アクションプラン 平成31年度版(案) について説明</p>
会長	<p>資料は二つありましたが、具体的にはこのアクションプランについて、追加・修正を行ったと説明をいただきました。それではこれについて、ご意見ご質問いただければと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>9ページの市民活動人材育成事業についてです。災害ボランティア研修を通して新しい新たな人材の発掘につなげるようという内容についてはすばらしいと思います。ただ、昨年9月に議会として、やはり地域を担う人材、若者の人材育成をしっかりと行って欲しいと提言書を出しております。自立した地域をつくっていくという意味で日田市でもまちづくりの会議をやっていますが、例えばその中の若い人を先進地に派遣するなどしてはどうでしょうか。新城市などでは、若い人がそういう研修やまちづくりに取り組んで、実際にその中心メンバーから市議会議員になられた方もおられます。そういう形で人材を育成していくということを議会で提言していますので、今の段階ではそういった提案は無いですけど、もう一度、今やっている市のまちづくり会議をもっと進めた取り組みを考えていないのかお聞きしたい。</p>
会長	<p>この事業についてはよいが、議会としてもう一步踏み込んだものが必要ではないかということですがいかがでしょうか。</p>
地方創生推進課	<p>今、委員からご紹介がありましたように、若者が活躍するまちの人材育成ということで、市議会から提言をいただいたところでございます。その提言を受けた以降、まちづくり集会や、高校生のパトリア等での発表、また、2月の冒頭にあった県際サミットにおいても高校生が活躍する場面があるなど、様々な場面で若者が表に出てきていると思っております。今、具体的に若者を先進地に派遣というご意見もいただきましたが、現在そういった形で民間団体も若者を中心とした施策を展開しております。第1期の総合戦略の中ではそういった今の地道な活動を推進するという形で考えておりますので、若者の先進地視察というものは今のところ考えてはおりません。</p>
会長	<p>若者というと青年会議所の方がおられますけれど、いかがでしょうか。急に振ってしまって申し訳ないですが、いろんな町を見てますと、今青年会議所等もまちづくりのために、自分たちが身銭を切ったりしながら、やはり何とかこの町をどうにかしようということで、いろんな取り組みを行っています。そういう若者の視点から見て、まちを担う我々としてはこういうことが大切なのだなど、何か</p>

	<p>ございませんか。</p>
委員	<p>どうしても僕たち30代、40代の世代は、まず日田市から出ている方も多し、地元に残っている方も少ないので、メンバーは少なくなっています。私達青年会議所は1月からが新年度で新しいやり方等を始めていますが、今年はどこも手が足りないので、区別せずにいろんな団体と組んでやっつけていこうと動いています。こういった総合戦略とかで具体的にと言われると難しいところがありますが、私たちみたいなまちづくり団体が活動しやすい地域になればいいなと思います。こういった会議に呼んでいただくなど、もっと一緒になって考える機会があれば色々な意見が出るのかなと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。急に振ってすいませんでした。他にどうぞなんでも結構です。</p>
委員	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略は平成27年度から始まり、今、30年度が終わろうとしています。30年度の総括や反省というものはされているのでしょうか。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>毎年、翌年度の7月頃に前年度の評価という形で、KPIの実績値や今後の取り組みをあげて、会議の中で審議していただいておりますので、今の段階で30年度総括という形はいたしておりません。</p>
委員	<p>我々民間企業だと大体前年度の総括や反省点に基づいて新年度の計画を立てます。総括なしにいきなり新しい計画を立てるというのもどうかと思います。どういう意味合いでこの31年度の案が出てきたのか教えてください。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>平成30年7月に29年度の総括を行いまして、その29年度の反省点をもとに、31年度の事業をどのように組み立てるかを各担当課に考えていただいて、事業が出来上がっている状況です。</p>
委員	<p>1年遅れですね。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>事務的な作業スケジュールというのももちろんあるかと思いますが、どうしても年度が終わった後にその実績を検証してまいります。その作業が今年で言いますと7月。その段階で29年度の情報に基づいてご意見をいただいて、そしてその点ではもうすでに30年度の計画がスタートしている状況です。そういった部分も踏まえて、最終年につきましては5年間の振り返りというので、年度途中でできる限りの評価をしながら、次期総合戦略についても考えていく必要があると考えています。</p>
企画振興部長	<p>今の説明でいくと29年度の評価に基づいて31年度の新規事業を組み立てたというような受け取りにもなるかと思いますが、当然ながら31年度の事業を組み立てる時は直近の状況をもとにしています。そして今現在、30年度の事業を実施する中で、課題や問題点をいかに解決するかということで当然常に見直しはかけております。ただ、皆さんにお示しできる評価の指標について、30年度の数字</p>

	<p>をまだまとめていませんので 29 年度の評価しか今のところをお示しできるものは無いということでございます。ただ事業を組み立てるときは常に最新の情報で組み立てないと当然ニーズは変わってしまうので、そういったことはやっております。</p>
委員	<p>30 年度の情報も当然入っているということですね。はい。わかりました。</p>
会長	<p>他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>3ページの保育士確保定着事業について質問です。私は子ども・子育て会議の委員をしています。また、大鶴にあります百豪子ども園の園長をしていますので、保育士等のところは非常に気になるところです。日田市は数年前から福岡市で、今年度は日田市でも開催していただきましたが、就職応援フェアとか、正規職員に2年間勤めた人に10万円の応援金をいただけるなどの支援があり、非常に現場としては喜んでいますが、ただ一方で、最近、保育士不足が全国で話題になっていますが、大阪市は保育士不足からくる待機児童解消のために、大阪市で働いてくれた保育士には、USJの年間パスポートあげるとか、夏休みや冬休みのいわゆる地方への帰省に対して帰省代を助成するとか、近場だと福岡市が養成校に通う人の学費を奨学金制度で最大180万円ぐらい勤めてくれたら戻してあげるといようなことをしています。日田市の学生の多くが福岡の養成校に通っていますので、そういった動きが福岡市にあると、なかなか日田市に保育士が戻ってこないのではないかとということが非常に懸念されて、私たちの団体でも話題になっています。日田市は非常に頑張ってくれていて、私たちとしてはありがたいのですが、福岡でそういった動きが来ると福岡の保育士との給料が5万円くらい違ってきます。日田に戻ってくるよりかは福岡で勤めようかなとなる学生が多くいるということが実態です。具体的に何をしたらいいのかというのは、なかなかすぐアイデアは出ないですが、このフェアも中身をさらに拡充すると若い学生さん等がこちらに戻ってくるきっかけになるのではないかなと感じています。</p> <p>また、7ページの若い世代が結婚・出産・子育てをということで、こちらも日田市はかなり出産から保育料等についても充実していて、子育てしやすいと個人的には感じております。ただ、よく保護者から言われるところですが、中央病院と提携されて病児保育や病後児保育の拡充もされていますが、実際は体調が悪いお子さんを園に連れてきます。ちょっと体調悪いよねと話しますが、「なかなか職場が休めない」と言われます。一旦預けて、園から職場に電話してもらおうと、帰りやすいと言う。できれば、これは市役所よりも企業へのお願いですが、やはり体調の悪いときぐらいは、親と一緒に過ごさせて欲しいな、という希望もあります。そういうような働く女性にやさしい企業に対して例えば助成金を出すとか、そういう形で女性が働きやすい環境、また、子どもの体調が悪いときは、もちろん病児保育の施設がありますが、そういったところよりは自分が病院に連れて行って家庭で看られるような環境が整うと保護者は非常に喜ばれるのではな</p>

	<p>いかとかなり感じています。もちろん製作所等、そういったのが無理な人のために病児保育というのは用意できますが、こちらにだけに力を入れるのではなくて働く女性が働きやすい職場環境になるよう、そちらの方にも力を入れていただくと非常にありがたいと感じています。</p>
こども未来課	<p>こども未来課でございます。いつもお世話になっております。今、委員からお話がありましたが、我々もそういうふうを感じております。最初にお話があった、大阪や福岡については保育士への助成については、大きな町が大きな金額を使って事業を実施されますと、我々としてもなかなかかなわない。どうしても学生は日田に養成校がありませんので絶対に都会に出て行きます。それから戻ってくるのではないのではないかという気がしており、平成29年度から30年度で福岡市に出かけて行って就職フェアを行いました。今年度についても趣旨を少し変えながらやりたいと思いますので、努力したいと思います。もう一つの病児・病後児保育について、病児保育を中央病院の横につくっておりますが、大体毎月延べて10人程度利用しています。1日だけの利用とは限りませんので、大体半分以上は誰が行っているような状況です。使いにくさ等はあると思いますがこちらとしてもうまくやっていきたいと思っております。もう一つの職場環境については、こういった制度があるのでぜひ事業者の方に利用していただきたいという話はしていきたいと思っております。</p>
会長	<p>他いかがでしょうか。</p>
委員	<p>同じような件でひとつ。私の立場が労働組合という立場なので偏った言い方になったら申し訳ございません。今、委員がおっしゃっている「賃金を上げたい」というのは皆思っていると思います。なぜ賃金が上げられない、上がらないのかを、経営者と実際の保育士の方が、話す機会があるのでしょうか。私たちみたいに労働組合があると話せますが、おそらくなかなか話せてはいないのかなと思います。そうすると、それぞれの不満が全部行政にしか向いていないように見える。行政も賃金を上げてあげたいが、どこからお金が出てくるのかという議論になる。経営者と実際の保育士の方が話し合う機会をしていただけると、何かヒントが生まれるような気がします。</p> <p>もう1点、大分県が保育士の働き方改革というレポートを作っています。行政がやったほうがいいかもしれませんが、是非ともこれも広めていただいて、保育士が戻ってくると言うか、資格を持っていて違う仕事をされている方がたくさんいらっしゃいます。話を聞くと賃金だけが理由じゃない。働きやすくなったというアピールしていただけたらいいかなと思います。</p>

会長	<p>ありがとうございました。今のご意見は、今後そういう工夫をいろんな形で多角的したらどうだろうかという趣旨だと思います。総合戦略は来年が最終年になりますけども、次をどういうふうにやっていくのかは、現場とのコミュニケーションしながら、より良い計画を詰めていかないといけないのではないかなと思います。現場の方もそういう情報や可能性等をいろいろ集めていただければと思います。いかがでしょうか他のアクションプランの改定について、ご質問ご意見があればと思います。</p>
会長	<p>祇園山鉦のところですよ。商工会議所としまして、観光業の産業化ということで、できるだけ観光業の入り客を増やそうという取り組みをしています。そういった中で、祇園山鉦の集団顔見世が今、木曜日開催になっていますので、日曜開催にできないかと取り組んでいます。平成31年度は間に合いませんが、時期について計画を立てる時に考慮していただけるとありがたいです。週末開催にすれば、今の倍以上の観光客を寄せることができる、人が来ると思うのでお願いしたい。</p> <p>もう一つ、日田の中心施設でした陣屋の復元というのも会議所で取り組んでいますので、この辺も、次回に向けたカテゴリーに考慮していただけるといいかなと思っています。</p>
観光課	<p>観光課の石橋でございます。その二つの案件につきましては、先般から会議所の方と話を進めております。そういった話の中で協議をさせていただければと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>3ページにまちなかりノベーションと晴れまちプロジェクトとあるのですが、まちなかとはどこを定義されているのでしょうか。また、可能であれば、豆田とか限で飲食店やゲストハウス等の芽を増やしていければ良いのではないかなと思うので、エリアが想定されているかという質問と、私はあまりよく見えませんが日田駅が今どうなっているのか、これと事業が絡むのだろうかと言う疑問があります。</p>
商工労政課	<p>商工労政課の中島でございます。まずは、まちなかりノベーションの範囲ということでよろしいですか。まちなかりノベーションにつきましては、区域は絞っておりません。ただ、それぞれの区域で補助率を少し変えていて、できるだけまちなかの上限額をあげています。具体的には、商店街の区域に補助率2分の1の上限額100万円、商店街以外のところについては補助率2分の1の上限額50万円を予定しています。この区域でないとこのリノベーション事業は使えないと言うことではなく街中を重点的にやりたいということで、極端に言えば、日田市内のどこの物件でも対象となります。日田駅については、日田駅前の空き家、空き店舗の物件で、民間事業者がリノベーションをすれば当然対象にはなりますけれども、日田駅前広場に限ってと言うことでは、この事業の対象にはしてございません。</p>
地方創生推進課	<p>駅前広場の件ですが、広場のハードの部分は現在工事をやっており、完成が4月</p>



	<p>末と聞いています。現在、広場ができあがった後の活用について、企画提案、運営をしていただく事業者を、市民の方や民間の事業者の方などに公募しようと考えております。公募にあたっては、JRが所有する日田駅舎の二階に空いたスペースでございますので、そちらの空間の利用もあわせて公募し、その提案とともに民間の方々に活躍いただくといった趣旨で取り組んでいこうと考えています。</p>
商工労政課	<p>高校生のキャリア教育に関して、商工労政課で実施している内容についてご説明申し上げます。商工会議所に委託して「ジョブカフェ大分ひたサテライト」を設置し、高校生を主体とした合同企業説明会、ビジネスマナー講座、日田・玖珠管内の広告性を集めた集団討論等、直接就職に繋がるようなセミナー等を実施しています。それから、民間のNPOの団体「日田しごと学び舎」というのがありますが、この団体も直接高校生を集めて、セミナー等を行っております。</p>
会長	<p>そうしましたら、アクションプランについて、赤文字部分がこの改定案ということになっていますが、これについては一応了承されたということによろしゅうございますか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>では、2番目の議題、地方創生推進交付金の検証結果について事務局からご説明をお願いします</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>議題(2)について 資料 地方創生推進交付金の検証結果について (H29 実施分) について説明</p>
会長	<p>それでは何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>1点だけ。獣肉販売数量というのが、前年度と比較して1.1トン弱増加しているということになっていますが、あくまでも料理に使うための販売ルートにおける1.1トンで良いのでしょうか。</p>
林業振興課	<p>林業振興課の川津でございます。各店舗等で活用していただいたものもありますし、日田のジビエ推進協議会の中で新たな店舗等を見つけて、販路拡大等を行う中で、福岡市の店舗にサンプルとして渡した分も含めた数量となっております。</p>
会長	<p>この話とは関係ないですが、ジビエの料理に非常に取り組んでいるとのことですが、私はドイツに長く住んでいましたが、シュトゥットガルト州の仕事をしていた時に経団連の代表達が日本から来ました。晩餐会があって、私はドイツ側の人間として参加したのですが、鹿の郷土料理が最高級料理として出ていました。当時の銀行の頭取が、非常にドイツ語が出来る方で「今日は鹿のすばらしい料理をいただいた。明日馬を食べるとこれは、ドゥムコプフ (Dummkopf: ばか者) だ」と言いましたが、すばらしいドイツ語でしたが誰もわかりませんでした。馬と鹿で馬鹿になるのが。ただ、何が言いたいかということ、鹿の料理等は、ヨーロ</p>

	<p>ッパだと伝統的な料理がたくさんあって、先ほど例に出したように、お城の中で最高級料理として出る料理となっています。そうすると、その料理の工夫とかが当然あるわけですが、日田でもヨーロッパの料理等は研究されているのでしょうか。</p>
林業振興課	<p>研究とまでは行っていません。ただ日田のジビエということで、今の上津江の獣肉処理施設で処理されております獣肉を広く PR しようと、高校生レシピを考えてもらったり、それを学校給食に提供したりしております。</p>
会長	<p>例えば料理する方をヨーロッパに派遣して、まず食べてもらおうというのはどうでしょうか。本当に高級料理です。先日友人と話をしていたら、日本は魚料理をするのに全部使います。鮎のはらわたはつまみになりますね。うるかとか。ありとあらゆるものを使うのが日本の知恵として蓄積されています。そう考えると、ヨーロッパではこういうジビエ等をずっと食べ続けてきているので、料理がものすごく発展しているのだらうと推測できます。そういうのを勉強しに行つてはどうでしょうか。単なる思いつきで言っていますが、ドイツには専門の肉屋さんがあって値段もそれなりにします。料理もものすごい形で発展していますから、ぜひ、ジビエをどうやって売ろうかとするよりも、高いものを作って高い値段じゃないと日田で食べさせないくらいするのが良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>私が、地域おこし協力隊ですので、ジビエに関して狩猟しているメンバーのお声をお伝えしたいと思います。ジビエは本当に料理として確立している部分もありますが、やはり食肉として考えると、普通の家畜と比べたら同じ土壌に乗りにくいものでもあるという性質を知ってもらいたい、ということをおっしゃっていました。ジビエの醍醐味は、豚や牛にはない野生の物を食べていることで、その動物を人が捕って、それをまた活かしていくというプロセスを自分は醍醐味としてやっているということと、そこを伝えるということに意味があるのではないかと、ジビエツアーを企画していると言っていました。獣肉処理施設に関しては、距離とか費用面を考えると、施設に持って行くまでのメリットが猟師さんたちにはなかなか無いと言っていました。例えば、お金をある程度払えば獣肉処理施設で解体をしてお肉は返してもらえとか、施設に持っていくと衛生検査してくれて、お肉を売る権利まで許可がおりて販売できますとか、そういう部分まで獣肉処理施設でできるようになると持って行く意義もあると言われていました。獣肉処理施設の活用のバラエティ等を増やすなど考えていただきたいということをおっしゃっていたので、ぜひご検討いただければと思います。</p>
会長	<p>今後ぜひ検討していただければと思います。そうしましたら、三番目の議題の審議会の推進体制について、事務局の方お願いいたします。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>議題（3）について 資料 日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会の推進体制について について説明</p>
会長	<p>今、説明がございましたけれども、ご質問等ございませんでしょうか。来年度</p>

	<p>は、総合計画の第1期基本計画が事業計画の最終年度ということで、総合戦略と一本化して策定を行うということ。そのため、計画をきちんと審議しながら、次の計画を立案するというようなことが責務になるので、このような形で新しい年度を迎えるということだったと思います。それではその他について、事務局はございますか。</p>
事務局 (地方創生推進課)	<p>これからの事務スケジュールについて少し触れさせていただきたいと思います。今日の審議会を踏まえて、これから3月議会が開かれて参りますので、総合戦略につきましては、2月26日に日田市議会の全員協議会の方で、本件について議員の方にご説明をいたしたいと思っております。その中でいろんなご意見をいただいて、もし今回の計画についての変更等が生じた場合は、もう一度この審議会を開催する必要が出てきます。その際は、候補日3月26日の火曜日に改めて審議会の開催を想定しております。</p>
会長	<p>これまで何かご質問ご意見ございますか。よろしゅうございますか。</p>
委員	<p>来年度が1期の総括ですが、新しい再来年度の総合計画に向けて、結局今日も良い意見が出て、子育てやジビエに関してなど中身の濃い発言だったと思います。重要性のあると思われるものに対する市の体制が、創生事業が細部にわたり過ぎていることもあって、これがどういった影響を市に与えるのかが、どうもだれてきているのではないかと感じています。日田市の創生事業が、2020年まで切らないために何をするのか、そこが基本ですので、そこに基づいた会議の席をどうしたらできるのかを考える必要がある。KPIにしてもジビエ料理としてブランド化をするためには何が必要なのか。販売量が増える事はもちろん大事ですが、その前提として、日田市にすればおいしいジビエが食べられる等の徹底した施策というものが必要じゃないかという部分を基本的に総合戦略事業として取り上げてきたというふうに思っていますので、そこらへんをぜひ検討していただきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。早いもので、これ4年目で来年が最後ということですけど、今委員が言われており、これは会長が言うと良くないのですが、人口動態というのはそう変わらないと思います。だいたい予想通りになる。日田市はもう終わってしまうということを統計上示し、そこから何とか5万人に維持しようとした時に、会議の一番始めのときに、皆さんがもう喧々諤々言ったのは、本当に突破するという覚悟を持ってやらないと、ということでした。ですから、そういったことも含めて、4年目が終わるので、最終年度にむけて検証すると同時に次を考えるというときに、会議のあり方等も含めて考えたらどうだろうということでした。初心に帰ったようなご意見をいただいたのだらうと思います。一つ、また事務局のご苦勞が多いと思いますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。今日はこれで議事については以上ということになります。それでは事務局お願ひいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。貴重なご意見をいただきまして、これからの参考に</p>

(地方創生推進課)	<p>させていただきたいと思います。それでは閉会のご挨拶を企画振興部長山中から申し上げます。</p>
<p>閉会のあいさつ 企画振興部長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。これまで昨年、一昨年ぐらいまでは、事務局は地方創生推進課だけがこの会議に出てご意見をいただいておりますが、昨年からは各担当課の課長が入っております。直接皆様方からのご意見を聞いて、実際それをどう生かすかということで動いております。最後に篠藤会長からお話ありましたとおり、事務局中心となって関係課からの意見を聞きながら、この会議体もどういう形がよいのか検討したいと思います。31年度が最終年度になります。K P Iの達成に向けた取り組みを行うとともに、第二期の計画づくりに取り組んで参りたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>また、先ほど総合計画審議会条例改正に伴う話をさせていただきました。3月に審議会がなければ、4月にはこのメンバーが新しい体制に変わります。篠藤先生におかれましては、これまで会長としてご尽力いただきました。私からお礼を申し上げたいと思います。長い間ありがとうございました。</p>